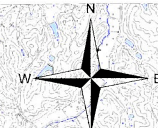


栗原市地震防災マップ

揺れやすさマップ 若柳地区

長町—利府線断層帯の地震の場合

金成地区



○ この揺れやすさマップは、活断層の地震である長町—利府断層の地震を想定した場合の震度分布を、100メートルメッシュ毎に表示しています。

○ 長町—利府断層は、仙台市から利府町にかけて、ほぼ南北に延びる長さ約40kmの活断層です。約3000年に一度程度の割合で繰り返し地震を起こし、前回の地震は約2000年前ではなかったといわれています。マグニチュード 7.1の地震を想定しています。

○ なお、ここに示した震度は、地震の規模や震源の距離から予想される平均的な揺れの強さです。地震の発生仕方によっては、揺れはこれより強くなったり、弱くなったりすることがあります。

■震度の大きさは震度とはなにか？

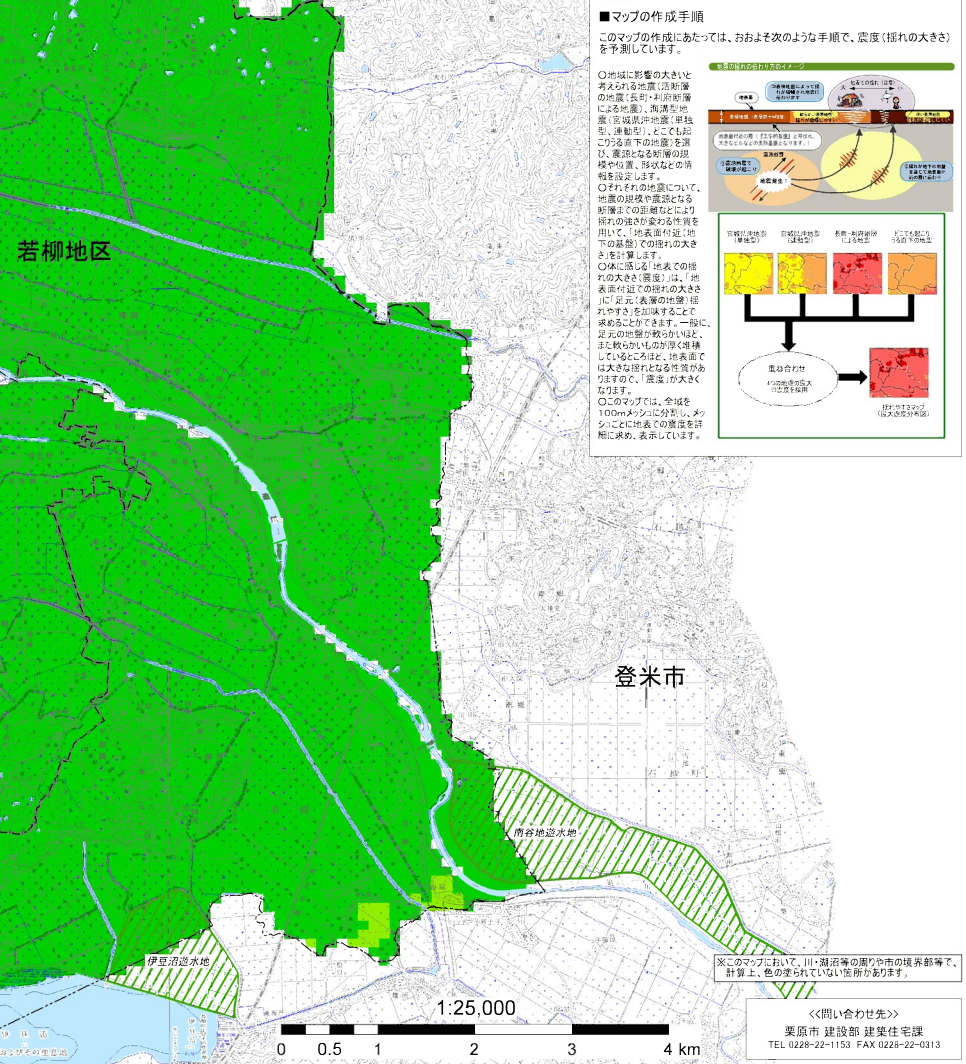
地震が起こったとき、ある場所での揺れの程度を表すのが震度です。震度の決め方は国によって異なり、わが国では気象庁が定める震度階級によって震度を表しています。従来は震度のほかまでの階級でしたが、平成9年10月から震度を従来の階級と併せて、5段階に分けて10段階に改定されました。また、気象庁が震度を発表する際にも、従来の気象庁の職員が体感した揺れの強さや周囲の風景状況などから判定していますが、最近では震度を観測するための「震度計」の設置されるようになり、この震度計の計測値(計測震度)とします。)をもとに計算で震度を決められるようになっています。

震度階級	人間	屋内の状況	屋外の状況	木造建築物
0	大は揺れを感じない。			
1	揺れに気づくが、大は揺れを感じない。			
2	揺れに気づくが、大は揺れを感じない。			
3	揺れに気づくが、大は揺れを感じない。			
4	揺れに気づくが、大は揺れを感じない。			
5弱	揺れに気づくが、大は揺れを感じない。			
5強	揺れに気づくが、大は揺れを感じない。			
6弱	揺れに気づくが、大は揺れを感じない。			
6強(1)	揺れに気づくが、大は揺れを感じない。			
6強(2)	揺れに気づくが、大は揺れを感じない。			
6強(3)	揺れに気づくが、大は揺れを感じない。			
6強(4)	揺れに気づくが、大は揺れを感じない。			
6強(5)	揺れに気づくが、大は揺れを感じない。			
7	揺れに気づくが、大は揺れを感じない。			

凡例

震度

- 震度2以下
- 震度3
- 震度4
- 震度5弱
- 震度5強
- 震度6弱
- 震度6強(1)
- 震度6強(2)
- 震度6強(3)
- 震度6強(4)
- 震度6強(5)
- 震度7



■マップの作成手順

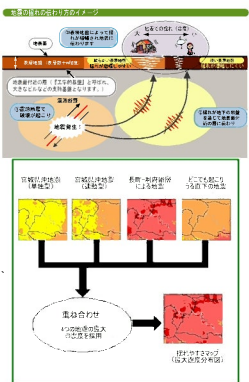
このマップの作成にあたっては、おおまかのような手順で、震度(揺れの大きさ)を予測しています。

○ 地域に影響の大きいと考えられる地震(活断層の地震(長町—利府断層による地震)、相模湾地震(宮城県沖地震(単断層、運動型))、ここもこの震源下の地震)を算出し、震源となる断層の規模や位置、形状などの情報を設定します。

○ 揺れやすさの程度について、地震の規模や震源となる断層までの距離などにより揺れの強さとなる性質を用いて、「地表面付近(地下の基底)での揺れの大きさ」を計算します。

○ 体に近い「地表面での揺れの大きさ(震度)」は、地表面付近での揺れの大きさに応じて、震源の地震の揺れやすさを反映することで求めることができます。一部は、過去の地震の揺れ強さなど、主に軟らかいのが多いと推定しているところほど、地表面では大きな揺れとなる性質がありますので、震源の大きくなっています。

○ このマップでは、全線長100mメッシュに分割し、メッシュごとに地表面での震度を詳細に求め、表示しています。



※このマップにおいて、川・湖沼等の圍りや市の境界部等、計算上、色の塗られていない箇所があります。

「お問い合わせ先」
 栗原市建設部 建築住宅課
 TEL 0228-22-1153 FAX 0228-22-0313

※本地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50000(地図画像)及び数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(複製番号: 平19給第_第199号)